

チームオレンジについて

令和5年1月31日
三重県医療保健部長寿介護課

チームオレンジの整備(概要)

★チームオレンジとは

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター(基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者)を中心とした支援者をつなぐ仕組み。

★チームオレンジ3つの基本

- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている
- ②認知症の人もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる



チームオレンジの種類	特徴
【第1類型】 共生志向の標準タイプ 活動の拠点の設置して活動	
【第2類型】 既存拠点活用タイプ 既にある地域資源の活動の中に、 認知症の人への困りごとへの対応を組み入れる	「まちなかサロン」や「認知症カフェ」 「介護予防教室」などをチームにする。
【第3類型】 拠点を設置しない個別支援型タイプ 活動拠点をつくらずに支援をする	既存のサロンや認知症カフェなどへ メンバーが訪問し支援等をする。

チームオレンジの整備(概要)

【KPI】各市町村1チーム設置

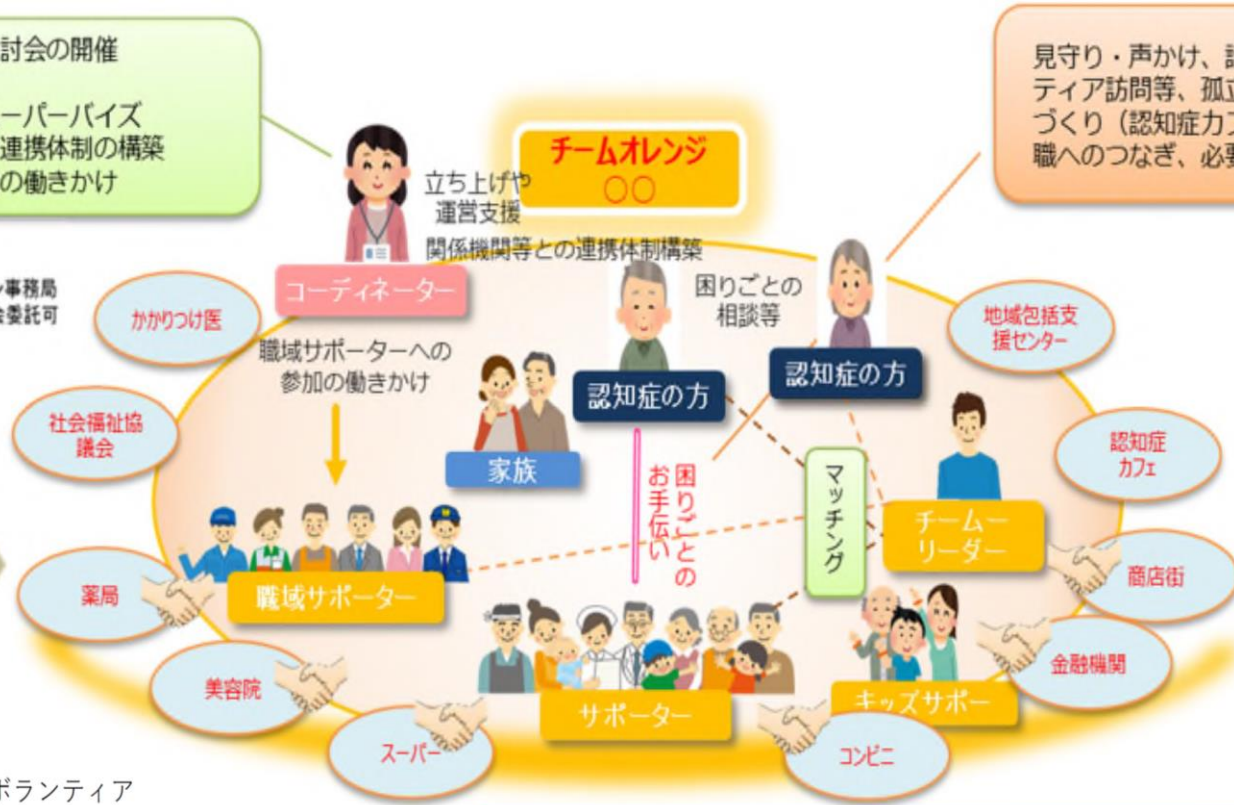
- ・ 仕組みづくりに関する検討会の開催
- ・ チームの立ち上げ支援
- ・ チームの運営に対するスーパーバイズ
- ・ 地域の企業や事業者との連携体制の構築
- ・ 職域サポーターへの参加の働きかけ

見守り・声かけ、話し相手、外出支援、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり(認知症カフェの同行・運営参加)、専門職へのつなぎ、必要な窓口の紹介等

【ステップアップ実施主体】

- 市町村認知症サポーターキャラバン事務局
- 市町村キャラバン・メイト連絡協議会委託可

(ステップアップ研修)



※チームオレンジによる支援はボランティアで行うことが望ましい。(地域医療介護総合確保基金を活用した介護人材確保のためのボランティアポイントの仕組みの活用も可能)

チームオレンジ三つの基本

- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。
- ②認知症の方もチームの一員として参加している。(認知症の方の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる

チームオレンジに係る国・県の目標値について

○認知症施策推進大綱(KPI)

- ・2025(令和7)年
- ・全市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み(チームオレンジなど)を整備

○三重県「みえ元気プラン」 【施策2-3】介護の基盤整備と人材確保

【基本事業3:認知症になっても希望を持てる社会づくり】

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会をめざして、それぞれの地域で本人と家族を支えるため、認知症サポーターや認知症の人によるチームオレンジ等の支援体制を構築するとともに、医療と介護の連携を図り、認知症の予防や診断後の支援等に取り組むなど、「共生」と「予防」を車の両輪として認知症の人本人に寄り添った施策を推進します。

【KPI(重要業績評価指標)】

チームオレンジ整備市町数を令和8年度29市町に設置

- ➡ 認知症の人やその家族に対する心理面・生活面の支援等を行うチームを整備した数

チームオレンジの整備(設置状況)

○ 令和2年度実績調査 ※認知症施策・地域介護推進課実施状況調べによる

- ・39都道府県138市町村にて、415チームが設置され、5,347名のチーム員が活動している。
- ・活動内容としては、傾聴ボランティア・相談相手、外出支援・同行支援、地域での見守り支援・自宅訪問などがあがった。

～都道府県別実施状況(実施市町村数)～

都道府県	実施市町村数	未実施市町村数	都道府県	実施市町村数	未実施市町村数	都道府県	実施市町村数	未実施市町村数
北海道	14	165	石川県	2	17	岡山県	1	26
青森県	2	38	福井県	0	17	広島県	0	23
岩手県	0	33	山梨県	1	26	山口県	1	18
宮城県	2	33	長野県	4	73	徳島県	3	21
秋田県	1	24	岐阜県	6	36	香川県	2	15
山形県	1	34	静岡県	13	22	愛媛県	0	20
福島県	2	57	愛知県	8	46	高知県	1	33
茨城県	0	44	三重県	2	27	福岡県	3	57
栃木県	8	17	滋賀県	3	16	佐賀県	0	20
群馬県	3	32	京都府	0	26	長崎県	1	20
埼玉県	5	58	大阪府	6	37	熊本県	6	39
千葉県	7	47	兵庫県	3	38	大分県	1	17
東京都	4	58	奈良県	4	35	宮崎県	1	25
神奈川県	5	28	和歌山県	3	27	鹿児島県	1	42
新潟県	3	27	鳥取県	0	19	沖縄県	2	39
富山県	1	14	島根県	2	17	計	138	1,603

～都道府県別実施状況(チーム数・チーム員数)～

都道府県	チーム数	チーム員数	都道府県	チーム数	チーム員数	都道府県	チーム数	チーム員数
北海道	29	299	石川県	20	237	岡山県	1	26
青森県	2	27	福井県	0	0	広島県	0	0
岩手県	0	0	山梨県	1	29	山口県	1	13
宮城県	2	45	長野県	9	196	徳島県	3	63
秋田県	1	60	岐阜県	10	235	香川県	3	28
山形県	1	13	静岡県	32	474	愛媛県	0	0
福島県	2	49	愛知県	9	192	高知県	1	14
茨城県	0	0	三重県	6	53	福岡県	3	69
栃木県	8	182	滋賀県	3	58	佐賀県	0	0
群馬県	3	59	京都府	0	0	長崎県	1	184
埼玉県	9	47	大阪府	6	164	熊本県	14	453
千葉県	35	778	兵庫県	4	110	大分県	1	10
東京都	7	63	奈良県	7	154	宮崎県	1	20
神奈川県	38	527	和歌山県	3	73	鹿児島県	1	41
新潟県	7	66	鳥取県	0	0	沖縄県	2	12
富山県	127	200	島根県	2	24	計	415	5,347

令和4年3月末現在、**6市町13チーム**設置済み

➡ 津市1チーム、伊勢市8チーム、桑名市1チーム
鈴鹿市1チーム、亀山市1チーム、玉城町1チーム

チームオレンジの整備(設置状況) 東海北陸6県の状況

チームオレンジ実施状況調べ(管内6県) ※R3年度実績

チームオレンジの実施状況について、管内6県合計設置済市町村数は25.3%（令和3年度実績）となっており、全国設置済市町村数の5.0%（令和2年度実績）を大きく上回ることが分かる。

都道府県名	設置済市町村数 (市町村数との比)	チーム数	チーム員数	市町村数
全国(R2年実績)	87 (5.0%)	153	3,118	1,741
富山県	1 (6.7%)	1	19	15
石川県	3 (15.8%)	21	282	19
岐阜県	7 (16.7%)	13	175	42
静岡県	18 (51.4%)	40	751	35
愛知県	15 (27.8%)	21	382	54
三重県	6 (20.7%)	13	281	29
6県合計	49 (25.3%)	106	1883	194

三重県のチームオレンジ設置状況

★令和4年3月末現在、**6市町**にて設置済み

	類型	活動人数	支援内容	チーム数
津市	第3類型	26名	認知症カフェ支援、普及啓発 サポーター養成、個別支援	1
伊勢市	第2類型	58名	見守り、話し相手、 地域での声掛け	8
桑名市	第2類型	23名	見守り支援	1
鈴鹿市	第3類型	54名	個別支援、既存の施策への協力 周知活動	1
亀山市	第2類型	29名	認知症普及啓発	1
玉城町	第2類型	89名	普及啓発、既存の施策への協力 個別支援	1

県のチームオレンジ立ち上げ支援

令和元年

●認知症サポーター等活動促進事業

伊勢市：4チーム、 亀山市：1チーム 結成

(認知症の人と家族の会
三重県支部 委託)

令和2年

●オレンジチューターの養成

国の開催する研修の受講により、3名のチューターを養成

令和3年

●チームオレンジコーディネーター研修 (R3.7.9)

- ・ オレンジチューターによる講義、グループワーク
- ・ 22市町が参加
- ・ 新たに 津市：1チーム 鈴鹿市：1チーム 結成

●オレンジチューターの養成

- ・ 国の開催する研修の受講により、2名のチューターを養成

令和4年

●チームオレンジコーディネーター研修の実施 (R4.8.19)

令和7年度を目標に、全市町でチームオレンジの整備を目指す。

※オレンジ・チューター派遣事業を、4市町において活用

※令和4年度中に、4市町が立ち上げを予定 (R4.5月の調査結果)

●オレンジチューターの養成

- ・ 国の開催する研修の受講により、2名のチューターを養成

三重県
オレンジチューター
7名 8

～県のチームオレンジ設置支援①～ 三重県オレンジ・チューター派遣制度

【三重県オレンジ・チューターの役割】

- ① 認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと
認知症サポーターをつなげる仕組み「チームオレンジ」の**構築支援**
(助言、研修会講師等)
- ② チームオレンジの**資質向上支援**(助言、研修会講師等)

三重県
オレンジチューター
7名
(令和4年度2名養成)

○県では、チームオレンジ設置等に向け、
依頼のあった市町へオレンジ・チューターを派遣しています。

➔令和4年度 **4市町(津市、鈴鹿市、松阪市、亀山市)**へ派遣

※ オレンジ・チューターとは

- 「オレンジ・チューター養成講座」(全国キャラバン・メイト連絡協議会実施)受講
- チームオレンジコーディネーター研修の講師

※参考情報

オレンジ・チューター養成研修

目的	チームオレンジコーディネーター研修の講師を養成
対象者	都道府県が推薦する者
主な講師	研修実施機関が選定する者
実施者	全国キャラバンメイト連絡協議会
補助金	認知症サポーター等推進事業
主な内容	<ul style="list-style-type: none">○ステップアップ講座の組み立て方○認知症高齢者の状況・ニーズ把握の方法○チームオレンジの効果的な編成方法や既存の社会資源の活用方法○認知症の意思決定支援と認知症の人への接し方○総合演習等

～県のチームオレンジ設置支援②～ チームオレンジコーディネーター研修

★チームオレンジコーディネーター

チームオレンジの整備を推進していくための中核的な役割を担う人材。市町村に配置。

【役割】

- ①チームオレンジの立ち上げ
- ②ステップアップ講座の企画・開催
- ③チーム運営に対する助言等
- ④自治体管内のチームオレンジネットワークの構築

※コーディネーターは市町村等に1名以上配置される。(認知症地域支援推進員等の兼務可)

○チームオレンジコーディネーター研修

日時:令和4年8月19日 場所:県庁講堂

講師:三重県オレンジチューター 公益社団法人認知症の人と家族の会三重県支部
鈴木 さとみ 氏、野口 美枝 氏

- (1)チームオレンジについての概要
- (2)チームオレンジの立ち上げている市町からの報告
- (3)グループワーク1「わが町チームオレンジの企画書作り」
- (4)グループワーク2「各市町ごとで企画書を検討」

【研修実績】
21市町参加
40名参加

※参考情報

チームオレンジコーディネーター研修

目的	チームオレンジの効果的な編成方法や運営のノウハウ等を伝達
対象者	コーディネーター、チームオレンジのチームリーダー等
主な講師	オレンジ・チューター
実施者	都道府県
補助金	地域医療介護総合確保基金(介護従事者確保分)
主な内容	<ul style="list-style-type: none">I オリエンテーションII 認知症サポーターの活動促進とチームオレンジIII チームオレンジの仕組みIV チームオレンジとコーディネーターV チームオレンジの立ち上げVI 支援メニューと支援範囲等の取り決めVII ステップアップ講座の実施についてVIII 演習(GW)・発表

市町におけるチームオレンジの設置のながれ

★行政担当者等(チームオレンジコーディネーター)を中心とし、設置を行う。

➡担当者は、市町の認知症の人のニーズを把握し、既存の地域資源を活用するなどして、チームオレンジを設置。

★市町は、チーム員に対しステップアップ講座を実施。

➡チームの活動内容等の説明。

【ステップアップ講座】

- 認知症の人への接し方などチームオレンジで活動するために必要な知識、対応スキルに関する講義を実施する。
- チームオレンジの支援活動の内容等に応じ、地域の実情に応じて実施される。
- チームオレンジへの参加を希望する認知症サポーターが受講対象。

市町におけるチームオレンジの設置のながれ

【設置のながれ(一例)】

	内容	備考
段階1	全体スケジュールの作成	チームオレンジコーディネーター等が中心となって作成
段階2	実態把握	(把握対象) ①当該地域の認知症の方の状況 ②支援ニーズ ③社会資源状況(チームオレンジ構成員等)等
段階3	チームオレンジの説明	(説明の対象) 住民サポーター、職域サポーター、地域住民等
段階4	(実態に即した)チームオレンジの編成・ (拠点を作る場合)拠点予定場所の設定	
段階5	チームオレンジ構成員の <u>ステップアップ講座</u>	(対象者) チームオレンジへの参加を希望する <u>認知症サポーター</u>
段階6	チームオレンジの立ち上げ	
段階7	チームオレンジ運営のバックアップ	

★行政担当者等(チームオレンジコーディネーター)が中心となってスケジュールを考案

※参考情報 ステップアップ講座

目的	チームオレンジのメンバーを養成
対象者	チームオレンジへの参加を希望する認知症サポーター
主な講師	キャラバンメイト、認知症地域支援推進員、保健師、チームリーダー、オレンジコーディネーター、オレンジチューター、実施市町村が講師として認める者 等 (※ ステップアップ講座のテーマに応じて適任者を選定します。)
実施者	(1)都道府県 (2)市町村
補助金	(1)都道府県 介護保険事業費補助金 (2)市町村 地域支援事業交付金
主な内容	・チームオレンジの支援活動の内容等に応じて地域の実情に応じた講義等を実施 (講義の例) ・チームオレンジの意義と役割 ・認知症の人への接し方などチームオレンジで活動するために必要な知識、対応スキルに関する講義 ・個人情報、プライバシーへの配慮に関する講義 ・意思決定支援に関する講義 等

※参考情報 ステップアップ講座

★ 各市町の開催状況(R4.5月現在)

	講座名	対象者・受講要件	備 考
津市	認知症サポーターステップアップ講座	津市在住(在勤)で、過去に認知症サポーター養成講座を受講したことがある者	受講者でご協力頂ける方には、有志の交流会(あしたばの会)の参加案内をしています。
	津市チームオレンジあしたば	認知症サポーター養成講座を受講し、入会を希望した者	受講者でご協力頂ける方には、RUN伴や多職種研修会等の参加案内をしています。
亀山市	認知症サポーターステップアップ講座(仮)	認知症サポーター養成講座受講したことがある者	
いなべ市	認知症サポーターステップアップ講座	いなべ市在住、在勤の方で、過去に認知症サポーター養成講座を受講したことがある方	受講者の方には、認知症サポーターとしての登録をお願いしています
東員町	認知症サポーターステップアップ講座	東員町民または在勤者で、過去に認知症サポーター養成講座を受講したことがある方	受講者の方には、修了生勉強会及びチームオレンジへの参加登録をお願いしています
川越町	認知症サポーターステップアップ講座	原則、町内在住・在勤者で5人以上の参加が見込めること	
明和町	認知症サポーターステップアップ講座	町民で、過去に認知症サポーター養成講座を受講したことがある者	受講者の方には、認知症カフェ(脳の健康つながりサロン)の”カフェとも”登録をお願いしています。
度会町	認知症サポータースキルアップ講座	令和3年度に認知症サポーター養成講座を受講した方	
南伊勢町	認知症サポーターフォローアップ講座	過去に認知症サポーター養成講座を受講したことがある者	

チームオレンジに係る課題①

★ **設置済み**市町に係る課題

【チームオレンジの理念の共有】

- チーム員の目指したいチーム像が異なる
- 様々な背景をもった人で構成されているため、理念の共有が必要である

【認知症ボランティアの主体性を引き出すこと】

- チーム員は行政の側にイニシアチブをとってほしいと望んでいるが、行政は、チーム員が主体となって活動してほしいと考えている。

【人材の増員】

- ステップアップ講座終了後、チームオレンジへの活動希望がない人に対し、活動への参加を啓発する方法を検討している。

【具体的なチームオレンジの運営ノウハウの不足】

- チーム員に対する連絡手段
- チーム同士の情報共有の場がない。

チームオレンジに係る課題②

★ **未設置** 市町に係る課題

【人材不足】

- 当事者・ご家族のチームへの参加誘致が難しい
- 前向きに情報発信できる当事者がいない ○担い手不足(他の活動をしている等)
- 若齢者に対する、認知症ボランティアへの参加誘致が難しい
- 過疎地で高齢者が高齢者を支えている状況

【他事業との連携、住み分けに関する課題】

- 既存の団体で類似の活動を実施している。それで当面十分と感じている。
- 基盤となる地域資源がない。 ○ほかに優先すべき事業がある。

【他】

- 行政が主体ではなくメンバーが主体となるチームの作り方に悩んでいる
- 行政のマンパワー不足等の理由により、認知症サポーター養成講座等の実施ができていない

★チームオレンジ3つの基本 【再掲・参考】

- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている
- ②認知症の人もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる

ご意見いただきたいこと

チームオレンジ市町設置の促進に向けた方策について

(例)

○県ができること

○市町ができること

○認知症の人や家族等がチームオレンジに求めていること

○医療機関がチームオレンジに求めていること

○介護現場がチームオレンジに求めていること

～県内のチームオレンジ活動内容①～

【津市】チームオレンジ・あしたば

グループ名	内容
○認知症カフェ支援グループ	現在津市内にある認知症カフェの活動支援および必要に応じてグループメンバー自ら認知症カフェを開催する等、認知症カフェの地域への定着を図っていきます。
○認知症普及・啓発グループ	認知症に対する地域の理解を深める活動、啓発媒体の作成、普及啓発の企画をしています。
○認知症サポーター養成グループ	認知症サポーターへの勧誘やグループメンバーでの認知症サポーター養成講座の開催を通じて、多世代の認知症理解を広げていきます。
○個別支援グループ	認知症の人やその家族の困りごとに対して、個別支援(例:話し相手、散歩の同行、定期的な見守り、趣味活動継続のお手伝い等)を行っていきます。

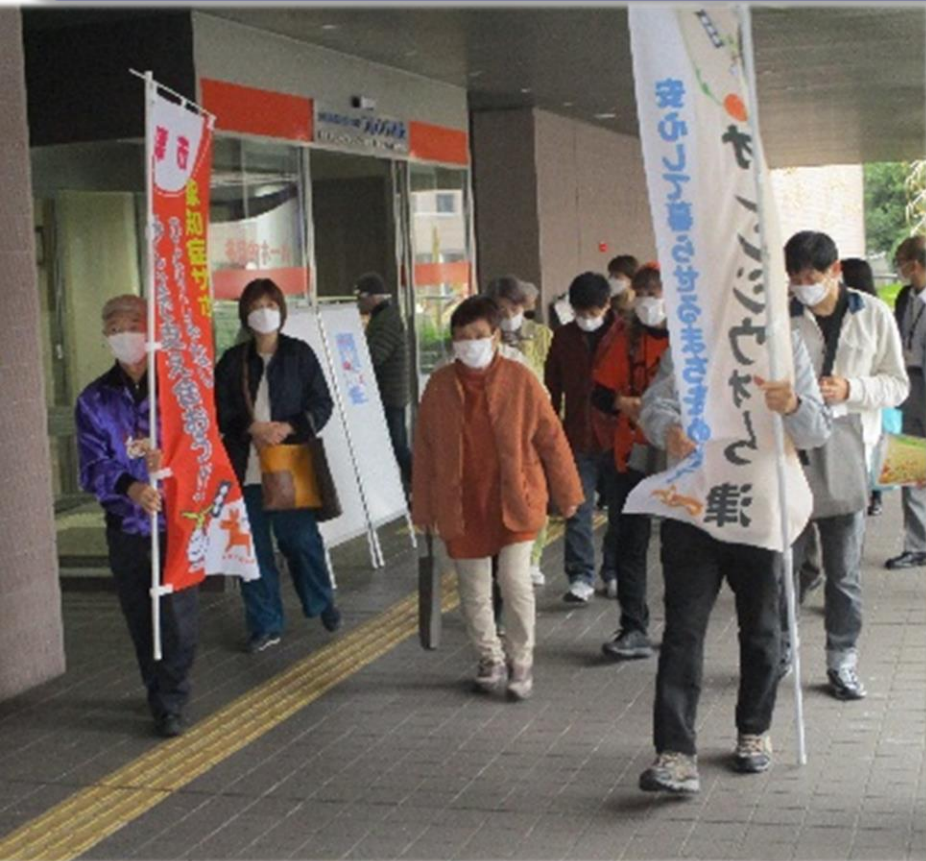


「チームオレンジ・あしたば」全体会の様子
 ➡上記グループに分かれて、どういった活動をしていくのか、今後の活動の方向性を話し合っています。

～県内のチームオレンジ活動内容①～ 【津市】チームオレンジ・あしたば

★オレンジウォーク津

認知症啓発を目的として、「オレンジウォーク津」を開催。
非営利市民活動団体「だいじこファミリー」と共催で実施。
三重県総合文化センター、Miemu周辺を歩きながら、「認知症にやさしい街づくり」への理解や「認知症サポーター」への参加呼びかけを行った。



日 時：令和4年11月23日（祝）

10:00～11:30

場 所：三重県総合文化センター
「フレンテみえ」3階セミナー室C

参加者：33名（その他 スタッフ：7名）



～県内のチームオレンジ活動内容②～

【伊勢市】チームオレンジ

集いの場やカフェ、会食会などを拠点に、認知症のある利用者の見守りや話し相手、地域の中で声かけなどの支援を行っている。

立ち上げ時期	チームオレンジ名
R元年10月	家族の会つどい
R元年10月	オレンジカフェほほえみ
R元年10月	認知症カフェあこや
R元年11月	認知症カフェさくら
R3年2月	憩いの家たまちゃん
R3年6月	みなとカフェ
R3年7月	オレンジつどい
R4年3月	北浜まちづくり協議会 地域福祉委員会
R4年6月	いきいきサロンひなたぼっこ



みなとカフェ

お茶を飲みながら、ゆっくり語り合ったり、運動したりして心も体もリフレッシュしませんか？

★実施日時：毎月最終火曜日 10時～12時

★場 所：みなとふれあいセンター2階（住所：伊勢市神津港262-1）

★参加費：100円（飲み物代）

※参加条件：●みなとカフェに一人で気軽いただける方
●家族と一緒に参加できる方
（当日飛び入り参加も可能です。）

※マスク着用でお越し下さい。

主 催：オレンジ（伊勢市ボランティアセンター登録団体）
協 力：社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

内 容

10:00～ 健康チェック（希望者のみ）

10:30～ レクリエーション・体操

11:00～ 座談会：お茶を飲みながら皆で盛り上がりましょう！
※認知症の方、家族の方の参加も大歓迎です。

お申込み・お問い合わせ先
オレンジ 担当：〇〇まで
お電話ください。
電話：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
（不在時に折り返し連絡させていただく場合がございます。）

公共交通機関利用
近鉄伊勢市駅、JR伊勢市駅から三重交通8番乗り場の一色バスに乗り三交神社バス停下車、徒歩3分。




【みなとカフェ】
ステップアップ講座の様子。
カフェに認知症が心配な方が来た場合の対応や、どんな認知症カフェにしたいか等意見交換を実施。

～県内のチームオレンジ活動内容②～ 【伊勢市】チームオレンジ

【オレンジつどい】

- 生活支援コーディネーターの声かけで、要支援者を中心とした地域住民の集いの場である「集いの場・みやがわ」のスタッフがステップアップ講座を受講し、チームオレンジを結成。
- 集いの場の利用者だけでなく、一緒に活動するボランティアの中にも認知症の方がいます。
- 日常の地域の活動の中で認知症の方への見守りや声かけ等を実施

★令和3年5・6・7月にステップアップ講座を開催

★日頃の集いの場の様子



～県内のチームオレンジ活動内容③～

【桑名市】精義おたすけ隊チームオレンジ

認知症本人の見守り

➡お助け隊例会で話し合いを実施

－本人の情報共有及び見守りについて

➡認知症型支援調整会議の開催

－地域の見守り体制について

各関係機関で話し合い、支援内容を決定

【具体的支援内容】

- ①本人が立ち寄りお店との連絡体制の構築
- ②妻の負担軽減への介護事業所との連携
- ③チームオレンジとして、本人への声掛け
- ④商店街の協力を得る
- ⑤自治会との情報共有

※現在、チームオレンジに協力いただいていた認知症の方が入所してしまったため、チームオレンジとしては活動していない。

論点：地域での見守り体制をどう築いていくか



・地域ケア会議終了後、おたすけ隊会長が会員へLINEで本人の見守りを依頼

➡ 次回の例会で本人さんの詳細情報を共有しおたすけ隊でも見守り

～県内のチームオレンジ活動内容④～

【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿

○認知症のご本人・ご家族を「オレンジ」、サポートをする方々を「フレンド」と称して活動実施

【1】個別支援

- 既存の社会保障サービス等では対応が難しいオレンジのニーズをフレンドと共に実施
(例)畑仕事、簡単な軽作業、工作 等
- 場所は、自宅・社協の会議室
- 通称「夢を叶える活動」

【2】グループ活動支援

(1)既存の認知症関連事業へのチームオレンジの協力

①若年性認知症者の会「レイの会」の方による洗車活動

若年性認知症の方の社会参加活動として社協の公用車を洗車。
フレンドはサポートを行う。

②おれんじルーム

認知症本人とそのご家族が参加。折り紙やすすか踊り、お話を共にする。専門医も参加。

③スローショッピングの日

誰もが安心して買い物ができるよう「おもいやりレジ」「おもいやりカフェ」を設置。
マックスバリュ株式会社と協力して実施。フレンドによる買い物の付き添い(1店舗)。

④認知症カフェ「ベル」

イオン薬局主催の認知症カフェ。今後の支援内容等をフレンドと共に検討予定。

(2)周知活動グループ

イベントや各活動に使用するグッズ(オレンジロボのマスコットやADイベントの啓発物等)の
作成

～県内のチームオレンジ活動内容④～
【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿

○若年性認知症者の会「レイの会」の方による洗車活動



～県内のチームオレンジ活動内容④～ 【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿

○スローショッピングの日の様子



～県内のチームオレンジ活動内容⑤～ 【亀山市】チームかめやま

【支援内容】認知症普及啓発

【活動地域】亀山全域

【活動内容】

- 定期的にチーム員が集まり、意見交換を実施
- 近所の集まりや道ですれ違った際に声かけを実施
- アルツハイマー月間の取り組みで、
講座や介護者のつどいにサポーターとして参加
- 図書館において認知症の普及啓発活動を実施予定

★県チューター派遣
制度を利用。

➡チューターと今後の
チームオレンジの
活動につき検討を
行っている



○図書館での普及啓発活動のチラシ

心いきいき回想法

～一緒に懐かしい話に花を咲かせましょう～

昭和の頃の生活用品を見ながら、当時の遊び、流
行った音楽、銀幕のスターなど、思い出を語り合うこ
とで共感しあい、心を元気にしましょう。

回想法の考え方やポイントについて作業療法士の方
にお話しいただきます。

とき

令和5年

1月30日

入場無料!
申込不要

13:30 ~ 15:30

*ご都合の良い時間に来てください。
*出入り自由です。

ところ

亀山市立図書館1階多目的室

御幸町318番地1 (JR亀山駅前)

クルクルレインボー
も作れるよ!



『回想法』とは・・・
経験したことを楽しみなが
ら語り合うことで、脳を
活性化させ、心を元気にす
ることです。

- ◆主催 チームかめやま
- ◆協力 亀山第1・第2地域包括支援センター
カナリアチーム

- ◆チームかめやま事務局・問合せ
亀山市健康福祉部地域福祉課
高齢者支援グループ
0595-84-3312

※コロナウイルス感染
防止にご協力ください。



・発熱や風邪症状が見
られる方は参加の自
粛をお願いします。
・マスク着用とソーシャ
ルディスタンスの確保
にご協力ください。

～県内のチームオレンジ活動内容⑥～ 【玉城町】サポーターさくら

●立ち上げまでの経緯

玉城町では認知症サポーター「サポーターさくら」が平成20年から活動。
令和4年11月13日の認知症予防講演会において、チームオレンジ宣言をした。

支援内容

(1) つどい場「協」

週3回開所。

開所時間は誰でも自由に参加可能。手芸や将棋等好きな活動をして過ごす。

(2) 家族会の実施

2カ月に1回開催。本人や家族が集まる機会を提供している。

(3) 一般介護予防事業への参加

サポーターとして介護予防教室運営に参加。

(4) ほか

認知症サポーター養成講座の開催、ケーブルテレビを活用した啓発劇の実施、
高齢者見守り・声かけ訓練等への協力

～県内のチームオレンジ活動内容⑥～ 【玉城町】サポーターさくら

